

水素関連研究センターのご紹介

今月より、水素のことを研究している機関・センターについてご紹介してきたいと思います。

まずは慶應義塾大学の先導研究センターに設置されている水素ガス治療開発センターです。

慶應義塾大学 先導研究センター 水素ガス治療開発センター

水素ガス、水素医療機器の薬事承認をめざすために水素ガス治療開発センターを設立。
センター長は佐野 元昭氏。(医学部 准教授)

水素ガス吸入療法が2016年11月7日、厚生労働省の先進医療Bに承認されましたが、水素ガス吸入療法を研究、実証したのが慶應義塾大学病院です。

心肺停止後の脳蘇生において、水素ガス吸入が低体温療法の代替療法(もしくは併用療法)として有効であることを動物実験(ラット)で証明し、医療用ガス・医療機器会社と共同研究契約を締結し、医療用水素混合ガス供給装置を開発(特許登録)、2014年慶應義塾大学病院で5名の心肺停止蘇生後患者に人工呼吸器を介した水素ガス吸入療法を施行して安全性を実証しました。

現在、全国各地の大学付属病院などが協力して症例数を集めています。心肺停止後の脳蘇生以外にも、出血性ショック、造影剤腎症、高血圧に対する治療効果を動物実験で検証し、水素に関する特許を獲得、申請しているとのことです。

花粉症予防に水素吸引



日本人の4人に1人が花粉症といわれています。先日、早くも来年のスギ花粉予想の第一報が発表されました。

日本気象協会が発表したのは今年より来年は多いとの予想、しかし、ウェザーニューズの予想は少ないと意見が分かれております。

正式にまた改めて発表とのことですが、多かろうと少なかろうと花粉症に悩まされることにはあまり変わりありません。

すいすいbarのお客さまや弊社の水素吸入器をご利用のお客さまからは、水素吸入をして花粉症が楽になったという声がたくさん届いております。

花粉症はアレルギーの一種です。

アレルギー反応が起きているということは、結果的に炎症が起こっているということ。花粉症によって目や鼻がムズムズするという事は、目や鼻がアレルゲンに反応し、炎症を引き起こしているのです。

その炎症を抑えるために、水素が抗酸化作用として働くのです。

弊社の水素吸入器でたくさん水素を体内に取り入れ今のうちからの予防対策が大切ですよ。

こおりやま産業博に 水素王国が出演

10/6(金)~8(日)にビッグパレットふくしまで開催された展示会に水素王国が出演いたしました。3日間で来場者数20,415人というにぎわいをみせ、水素王国のブースには午前中から長時間にわたって長い行列ができ、千葉社長もその盛況ぶりに少々興奮していました。お客さまは水素の魅力を十分に感じていただけたのではないのでしょうか。



編集後記

秋を通り越して、急に寒くなってきましたね。急な気温の変化は体調を崩しやすいので、風邪などには十分お気をつけください。

水素吸入後、お客さまから「なんだかぼかぼかしてきたわ」というお声をよく耳にします。水素吸入は血行をよくしてからだを温める効果もありそうですね。寒い時期にもぜひ水素吸入で温まってください。(田)



水素吸入器HB-133